

富山県屋外広告物条例許可基準等の見直しの概要

見直しの考え方

立山連峰をはじめとする優れた自然・眺望景観の保全と、良好な沿道景観の形成を目指す

見直しのポイント

1 規制の地域区分の見直し

地域の景観特性や経済活動に着目し、5つの地域区分に整理し直し、景観の保全が重要な地域では規制を厳しく、経済活動への配慮が必要な市街地等では規制を緩くするなど、地域区分に応じて規制の内容に強弱をつけます。

2 許可基準全般の見直し

立山連峰等の眺望景観や沿道景観に配慮し、広告物の高さの基準を設けるとともに、面積に総量規制の考え方を導入するなど、高さ、面積、色彩などの面から、基準全般を強化します。
幹線道路沿線においては、経済活動や景観への影響を考慮したうえで規制を一部緩和します。






3 条例遵守の実効性の確保

広告主の責任を条例上明確にするとともに、違反者に対する勧告及びこれに従わない場合の公表制度を導入します。

見直し基準案のポイント

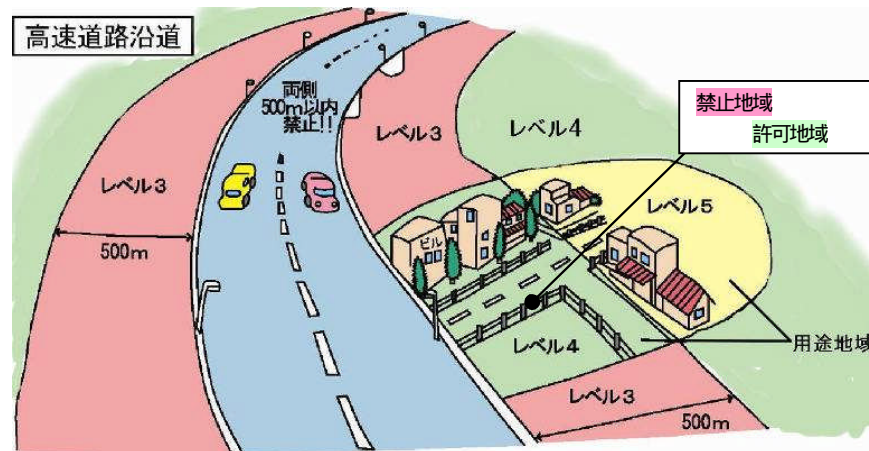
禁止地域・許可地域の区分見直し

強 ← 規制 → 弱

| レベル1 | レベル2 | レベル3 | レベル4 | レベル5 |
|--|---|---|--|--|
| 禁止地域 | | | 許可地域 | |
| 景観の保全上重要な地域 | 地域の良好な景観の保全を優先すべき地域 | 立山連峰等の眺望景観の保全を優先すべき地域 | 田園景観等に配慮すべき地域 | 景観と経済活動との調和に配慮すべき地域 |
|  伝統的建造物群保存地区など |  低層住居専用地域など |  高速道路沿いなど |  一般的な地域 |  市街地など |

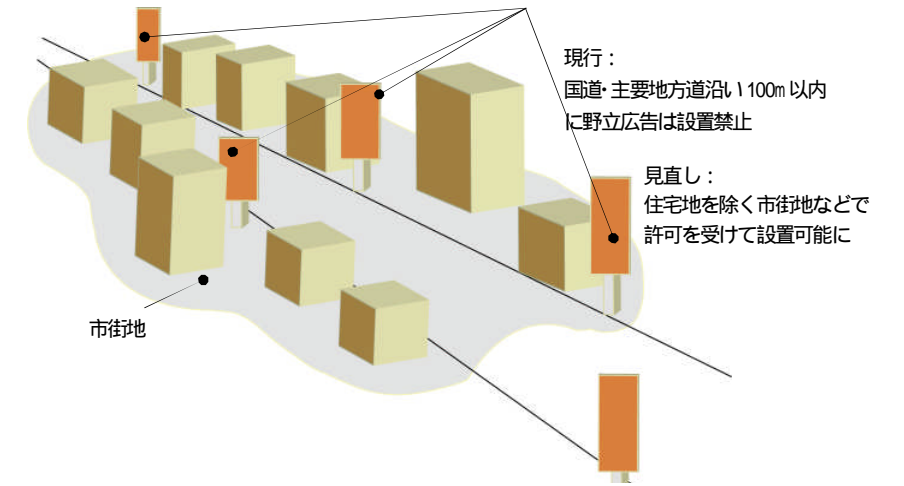
高速道路沿いの規制緩和

・高速道路沿線両側 500m以内の禁止地域のうち、住宅地を除く市街地（都市計画上の用途地域）を禁止地域から除外します。



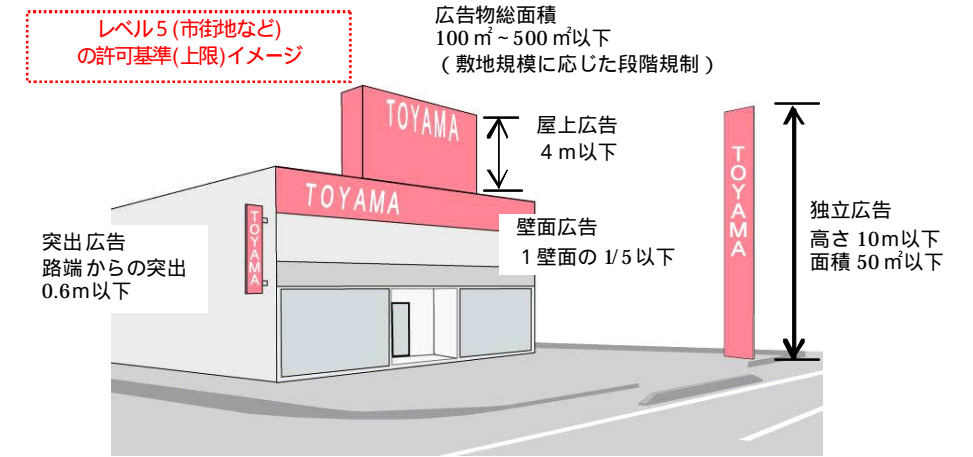
幹線道路沿いの規制緩和

・国道・主要地方道・鉄道沿い100m以内の野立広告の一律規制を緩和します。



許可基準の見直し

・景観障害要因となる大規模な広告物などを規制するため、現行の許可基準全般を見直します。
・野立広告に高さ基準を新たに導入するなど、高さ基準は厳しめに設定する一方で、面積基準はやや緩めに設定します。



総量規制の導入

・敷地内の屋外広告物の総面積を規制する「総量規制」を導入します。



色彩規制の導入

・特に景観に配慮すべき地域・物件に「色彩基準」を導入し、けばけばしい色の地色への使用を制限します。

けばけばしい色を大量に使用



鮮やかな色を文字の色に使用

赤の彩度を落とし地色を使用

